

まっどDEいきいき高齢者

▼高齢者を取り巻く課題

●団塊世代が後期高齢者になる『2025年問題』

・後期高齢者(75歳以上):2015年5.4万人→2025年7.0万人→2030年8.7万人(社人研推計)

●少子高齢化等による『ニーズの多様化』

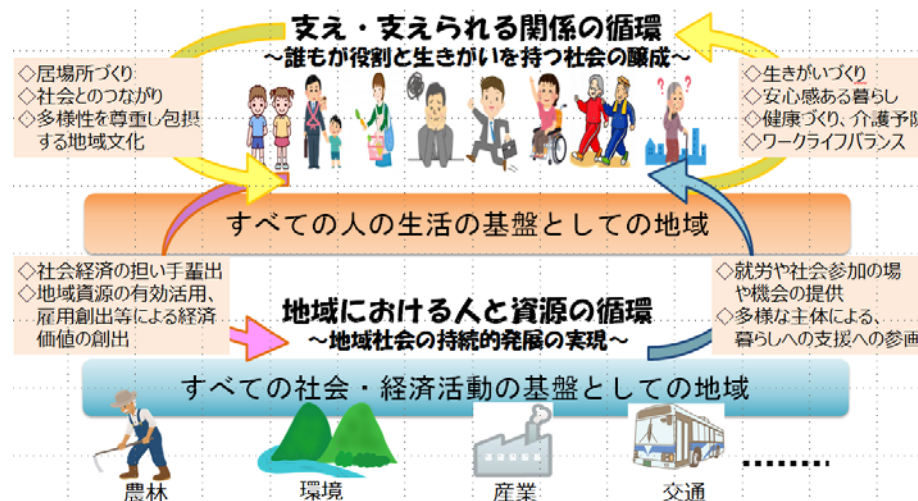
・未婚化、単身化、一人暮らし高齢者、認知症高齢者の増加、引きこもり、非正規雇用の増加、地域の支え合いの力の低下、子育てと介護を同時に担うダブルケアの増加 など

▼健康寿命の延伸

高齢者が加齢により心身虚弱に陥ることを予防する取組み『フレイル予防』を進める。

▼地域共生社会の実現

制度や分野の『縦割り』や『支え手』『受け手』という関係を超え、地域社会や地域の多様な主体が『我が事』として地域づくりに参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えて『丸ごと』つながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会。



まつどDEいきいき高齢者

▼まずは健康づくり

- ・『健康松戸21応援団』：企業や市民団体との協働により、みんなで健康づくりに取り組む地域環境づくりを推進。
- ・『まつど健康マイレージ』：各種健診・検診の受診や市の健康関連イベントに参加してポイントを貯めて応募すると抽選で賞品がもらえる。市民の主体的な健康づくりを応援。



▼企業との協働による『健康松戸21応援団フェス2018』（健康麻雀体験）の様子

▼マイルを貯めて健康と特典をゲットしよう！まつど健康マイレージ

▼地域包括ケアシステムの構築

- ・市内15の日常生活圏域すべてに高齢者いきいき安心センター（地域包括支援センター）を設置。
- ・松戸市医師会協力のもと『在宅医療・介護連携支援センター』の専門医が家庭訪問を実施。適切な医療受診や介護サービスにつなぐ。
- ・『福祉まるごと相談窓口』を4か所に増設。

▼介護人材の確保・育成

- ・介護人材育成や介護事業所で働く人への支援

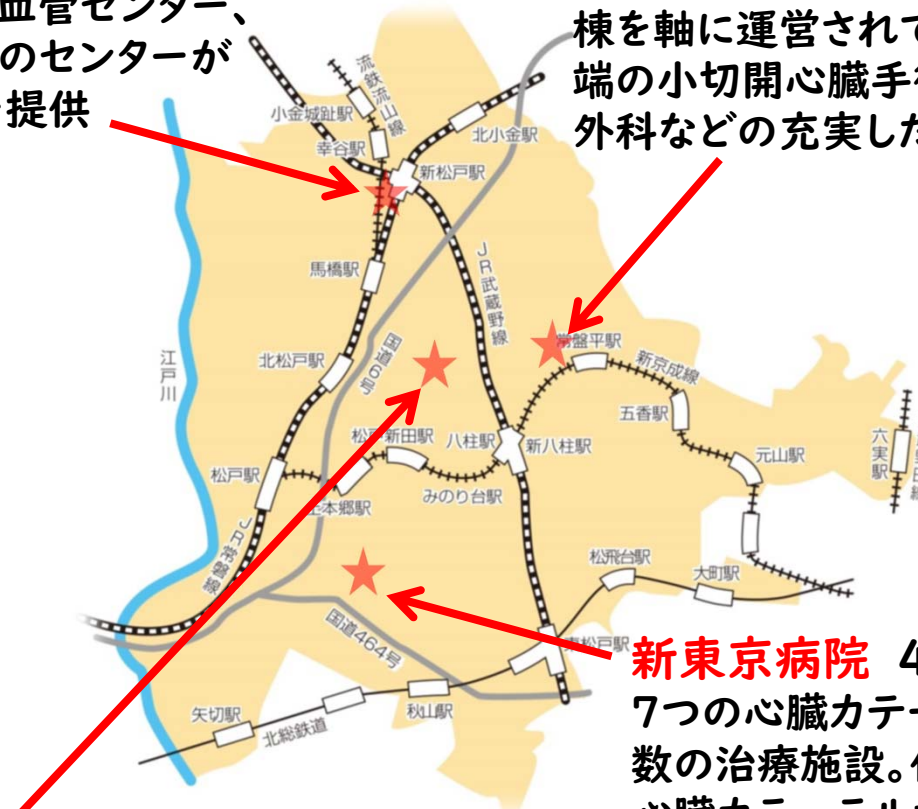


▼松戸市高齢者の元気応援・介護情報サイト『まつどDEいきいき高齢者』

健康医療都市まつど

新松戸中央総合病院 333床
消化器病センター、心臓血管センター、
血液浄化センターの3つのセンターが
中心となり高度な医療を提供

千葉西総合病院 608床
全国でトップレベルの手術実績を誇る循環
器内科をはじめ、全26床の脳卒中専門病
棟を軸に運営されている脳神経外科、最先
端の小切開心臓手術を手掛ける心臓血管
外科などの充実した診療体制



松戸市立総合医療センター 600床
平成29年12月開院 ⇒ 詳細は次ページ

新東京病院 430床
7つの心臓カテーテル室を備える日本有
数の治療施設。代表的な心臓内科では、
心臓カテーテル検査、冠動脈カテーテル
治療、抹消動脈カテーテル治療等の多数
施行実績

基本目標2 高齢者・障害者・福祉・健康・地域共生 ～誰もがいきいきと暮らせるまちづくり～

平成29年12月27日開院 松戸市立総合医療センター



【特徴】

- 高精度照射対応の放射線治療装置の導入
- 診療体制の効率化
- 療養環境の向上
- 画像診断装置の増設



地域周産期母子医療センター

産科及び小児科等を備え、周産期にかかる高度な医療行為を行うことができる医療施設として、東葛北部保健医療圏で初認定。(平成28年4月1日)